

2025年度

# 入学試験要項

くらしき作陽大学 大学院

音楽研究科（修士課程）

# 目次 | Contents

I. 募集人員	1
II. 選抜方法	1
III. 出願資格	2
IV. 出願期間・試験期間・合格発表・入学手続	2
V. 出願手続	3
VI. 検定料	3
VII. 細専攻区分	4
VIII. 試験科目	4~8
IX. 試験会場	9
X. 入学手続	9
XI. 長期履修制度	10
XII. 受験上の注意	10

## くらしき作陽大学大学院アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科での学修・研究に必要な専門知識，研究能力および意欲を有し，かつ各領域・専攻で必要とされる資質・態度を有する人。

### Ⅰ 募集人員

	研究領域	募集人員
音楽研究科 音楽専攻	演奏芸術領域 音楽文化領域	10名

### Ⅱ 選抜方法

- 共通科目試験（口頭試験・面接），専攻科目試験（実技・作品），外国語試験を総合的に判定する。

#### Ⅳ 出願資格

● 次のうち、いずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者、または2025年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学士の学位を授与された者、または大学院入学までに取得見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または大学院入学までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者
- (6) 学校教育法の定めるところにより大学院入学資格があると認められる者

#### Ⅳ 出願期間・試験期間・合格発表・入学手続

I 期 入 試	出願期間	2024年12月2日（月）～12月9日（月）〔必着〕	
	試験日	2024年12月14日（土）	※ 詳細は出願受付後、送付する日程表で確認すること。
	合格発表	2024年12月20日（金） 合否の結果は上記の期日に本人宛に郵便にて通知する。	
	入学手続	入学手続きの詳細は、合格通知と同時に発送する書類で通知する。	
II 期 入 試	出願期間	2025年1月10日（金）～1月22日（水）〔必着〕	
	試験日	2025年2月2日（日）	※ 詳細は出願受付後、送付する日程表で確認すること。
	合格発表	2025年2月14日（金） 合否の結果は上記の期日に本人宛に郵便にて通知する。	
	入学手続	入学手続きの詳細は、合格通知と同時に発送する書類で通知する。	
III 期 入 試	出願期間	2025年2月20日（木）～3月5日（水）〔必着〕	
	試験日	2025年3月12日（水）	※ 詳細は出願受付後、送付する日程表で確認すること。
	合格発表	2025年3月19日（水） 合否の結果は上記の期日に本人宛に郵便にて通知する。	
	入学手続	入学手続きの詳細は、合格通知と同時に発送する書類で通知する。	

## V 出願手続

### ① 出願先

くらしき作陽大学 事務局 入試広報室

〒710-0292

岡山県倉敷市玉島長尾3515

TEL 086-523-0808

### ② 提出書類

必要書類等	記入要領等
入学志願票	本学ホームページの Web 出願システムを通じて必要事項を入力して「各種支払番号」を控え、受験料をコンビニエンスストアで支払ってください。支払い後に受信する「インターネット出願支払完了」メールに記載された URL にアクセスして「Web 入学志願票」を印刷し、指定の箇所に「写真」を貼り付けてください。(写真は縦 4 cm×横 3 cm。裏面に氏名を明記し貼付)
受験曲目票	本学所定のもの。
卒業(見込)証明書	出身大学の学長、または学部長が作成したもの。
成績証明書	出身大学の学長、または学部長が作成したもの。(要厳封)
レターパックプラス	合否通知送付用。
返信用切手	日程表送付用。(切手の料金についてはお問い合わせ下さい。)

※ 全ての提出書類のうち、外国語で書かれた証明書、文書等がある場合、日本語訳を添付すること。

※ 出願者は以上の該当する書類を一括して、「書留速達」で郵送すること。(書留速達は、郵便局窓口へ持参しなければ扱えない)

なお、一旦提出した書類、検定料は理由の如何にかかわらず返還しない。

※ 願書持参の場合は、出願期間中の平日の17時までに入試広報室の窓口(1号館1階)へ持参すること。

※ 願書等に記載された個人情報、入学試験準備、合格発表に使用する。

#### 受験票について

出願締切日の翌日以降に Web 出願システムよりダウンロードしてください。

試験当日に必ず持参してください。

※ 外国人留学生については、上記の提出書類に併せ、次の書類を提出すること。

#### ◆ 外国人留学生

日本国内在住の方	パスポート・在留カード	パスポート及び在留カード(表裏両面)の写し。
	履歴書	様式自由、学歴及び職歴はそれぞれ時系列で記入する。
	日本語学習経歴書	様式自由、日本語能力試験受験歴(級別、点数)記載のもの。
海外在住の方	※提出書類について	別途定めており、入試広報室までお問い合わせください。

## VI 検定料

検定料30,000円

## Ⅳ 細専攻区分

専攻	研究領域	細専攻区分
音 楽 専 攻	演奏芸術領域	ピ ア ノ モスクワ音楽院MSC(ピアノ)
		オ ル ガ ン
		ヴ ァ イ オ リ ン
		ヴ イ オ ラ
		チ エ ロ
		コ ン ト ラ バ ス
		ハ ー プ
		フ ル ー ト
		オ ー ボ エ
		ク ラ リ ネ ッ ト
		フ ァ ゴ ッ ト
		サ ク ソ フ ォ ン
		ト ラ ン ペ ッ ト
		ト ロ ン ボ ー ン
		ホ ル ン
		ユ ー フ ォ ニ ア ム
		テ ユ ー バ
	打 楽 器	
	マ リ ン バ	
	箏	
声 楽		
作 曲		
指 揮		
音楽文化領域	ピ ア ノ 他※	

※演奏芸術領域の細専攻区分

## Ⅳ 試験科目

### ① 共通科目試験

- (1) 口頭試験：西洋音楽史の基礎的知識ならびに研究計画等を問う。  
作曲領域志願者には、加えて提出作品について問う。
- (2) 面接：一般面接（他大学からの受験者、外国人留学生のみ）

### ② 専攻科目試験（p.5～p.8に掲載）

- ※ 伴奏を必要とする専攻科目の場合は、ピアノ伴奏のみとし、伴奏者は志願者が同伴すること。  
なお、譜めくりを必要とする場合も志願者が同伴すること。
- ※ 願書受付後、受験曲や志望する専攻の変更は認めない。

### ③ 外国語試験

日本で受験資格を得た者

英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・ロシア語の中から1ヶ国語を出願時に選択すること。

※ くらしき作陽大学音楽学部を卒業した者、あるいは卒業見込みの者については、英語・ロシア語V・VIのいずれかの科目の評価が80点以上であれば、試験が免除される（平成19年度入学生以前の方は、入試広報室までお問い合わせください）。

※ 時間は100分、辞書（英和・独和・仏和・伊和・露和）の持ち込み可。ただし電子辞書類は除く。  
辞書の貸与はしない。

※ 願書受付後、外国語の変更は認めない。

外国で受験資格を得た者

日本語を課す。

※ 財団法人日本国際教育支援協会（JEES）実施の日本語能力試験でN2以上を合格した者は、外国語試験（日本語）を免除する。

※ 時間は100分、辞書の持ち込みは不可とする。

演奏芸術領域

<p>ピ ア ノ</p> <p>モスクワ音楽院 MSC (ピアノ)</p>	<p>4つの時代 (I. バロック, II. 古典, III. ロマン派, IV. 近現代) より1曲ずつ計4曲を選曲して, 30分程度のプログラムを構成し, 演奏する。</p> <p>注) 1. 出版されている作品に限る。 2. 繰り返しの有無は自由 3. 暗譜演奏 4. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>オルガン</p>	<p>I. J. S. Bach: Sechs Sonaten BWV525から BWV530までの中から任意の1曲 (全楽章) II. 自由曲 (但し, J. S. Bach の作品を除く。)</p> <p>注) 1. 暗譜の必要は無い。 2. I・IIいずれも演奏の一部省略または中断を求めることがある。 3. アシスタントは各自で用意すること。 4. レジスタータイムを与える。</p>
<p>ヴァイオリン</p>	<p>以下の(1), (2)を番号順・繰り返しなしで演奏。</p> <p>1. 次の4曲から任意の1曲。(楽譜使用可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Johann Sebastian Bach Sonate I g-moll, BWV 1001 Fuga</li> <li>・ Johann Sebastian Bach Sonate II a-moll, BWV 1003 Fuga</li> <li>・ Johann Sebastian Bach Sonate III C-dur, BWV 1005 Fuga</li> <li>・ Johann Sebastian Bach Partita II d-moll, BWV 1004 Ciaccona</li> </ul> <p>2. 次の3曲より任意の1曲を演奏。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Johannes Brahms Violinkonzert D-dur op. 77 1Satz</li> <li>・ Jean Sibelius Violin Concerto in D minor, Op. 47 1st movement</li> <li>・ Pyotr Ilyich Tchaikovsky Violin Concerto in D major, Op. 35 1st movement</li> </ul> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。 2. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>ヴァイオラ</p>	<p>以下の(1), (2)を番号順・繰り返しなしで演奏。</p> <p>1. 次の3曲より任意の1曲。(楽譜使用可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Johann Sebastian Bach Suite Nr.. 4 Es-dur, BWV 1010(arr. for viola)Prélude</li> <li>・ Johann Sebastian Bach Suite Nr.. 5 Es-dur, BWV 1011(arr. for viola)Prélude</li> <li>・ Johann Sebastian Bach Suite Nr. 6 Es-dur, BWV 1012(arr. for viola)Prélude</li> </ul> <p>2. 次の4曲より任意の1曲を演奏。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B. Bartok: Concerto for Viola and Orchestra, op. post. (Version: Serly) 1st movement</li> <li>・ W. Walton Viola Concert(Oxford University Press) 1st 2nd movement</li> <li>・ Paul Hindemith: Viola Sonate 11-4</li> <li>・ George Enesco: Conert piece F</li> </ul> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。 2. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>チェロ</p>	<p>以下の(1), (2)を番号順・繰り返しなしで演奏。</p> <p>1. 次の3曲から任意の1曲。(楽譜使用可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Johann Sebastian Bach Suite Nr.. 4 Es-dur, BWV 1010 Prélude</li> <li>・ Johann Sebastian Bach Suite Nr.. 5 Es-dur, BWV 1011 Prélude</li> <li>・ Johann Sebastian Bach Suite Nr. 6 Es-dur, BWV 1012 Prélude</li> </ul> <p>2. 次の3曲より任意の1曲を演奏。(出版社の指定なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A. Dvorak: Cello Concerto in B minor, op. 104 1st movement</li> <li>・ J. Haydn Concerto No. 2 in D Major for cello and orchestra, Hob. VIIb/2, op. 101 1st movement</li> <li>・ R. Schumann Cello Concerto in A minor, op. 129 1st movement</li> </ul> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。 2. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>

演奏芸術領域

<p>コントラバス</p>	<p>以下の(1), (2)を番号順・繰り返しなしで演奏。            1. F. Simandl 《30 ETUDES FOR STRING BASS》より任意の1曲            2. 以下の4曲より任意の1曲。            ・ S. Koussevitzky Double Bass Concerto in F-sharp minor, Op. 3, 1st movement or 2nd &amp; 3rd movement            ・ J. B. Vanha Contrabass Concerto in D-Major 1st or 2nd &amp; 3rd movement            ・ Giovanni Bottesini Concerto for Double Bass No 2 in F sharp Minor 1st or 2nd &amp; 3rd movement            ・ H. Fryba: 《Suite im alten Stil》</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。            2. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>ハープ</p>	<p>I. G. F. Händel: Konzert B-dur (全楽章, Grandjany のカデンツァ)</p> <p>注) 1. 暗譜演奏            2. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。            3. 本学で用意した楽器を使用する。</p>
<p>フルート</p>	<p>I. 下記のいずれか1曲            W. A. Mozart: Konzert Nr. 1 G-dur K. 313(285c) (カデンツァを含む)            W. A. Mozart: Konzert Nr. 2 D-dur K. 314(285d) (カデンツァを含む)            II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。            2. Iの課題は暗譜演奏のこと。            3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>オーボエ</p>	<p>I. W. A. Mozart: Konzert C-dur K. 314 (カデンツァを含む)            II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。            2. Iの課題は暗譜演奏のこと。            3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>クラリネット</p>	<p>I. W. A. Mozart: Konzert A-dur K. 622            II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。            2. Iの課題は暗譜演奏のこと。            3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>ファゴット</p>	<p>I. W. A. Mozart: Konzert B-dur K. 191(186e) (カデンツァを含む)            II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。            2. Iの課題は暗譜演奏のこと。            3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>サクソフォン</p>	<p>I. J. Ibert: Concertino da camera            II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。            2. Iの課題は暗譜演奏のこと。            3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>



演奏芸術領域

<p>トランペット</p>	<p>I. F. J. Haydn: Konzert Es-dur Hob. VIIe: 1 (カデンツァを含む)                  II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。                  2. I の課題は暗譜演奏のこと。                  3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>ホルン</p>	<p>I. W. A. Mozart: Konzert Nr. 4 Es-dur K. 495 (カデンツァを含む)                  II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。                  2. I の課題は暗譜演奏のこと。                  3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>トロンボーン</p>	<p>テナー・トロンボーン                  I. F. David: Konzertino Es-dur Op. 4                  II. 任意の曲                  バス・トロンボーン                  I. F. David: Konzertino B-dur Op. 4                  II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。                  2. I の課題は暗譜演奏のこと。                  3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>ユーフォニアム</p>	<p>I. J. Horovitz: Euphonium Concerto                  II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。                  2. I の課題は暗譜演奏のこと。                  3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>チューバ</p>	<p>I. R. Vaughan Williams: Tuba Concerto                  II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。                  2. I の課題は暗譜演奏のこと。                  3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>打楽器</p>	<p>I. 北爪道夫: Side by Side                  II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。                  2. I の課題は暗譜演奏のこと。                  3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>
<p>マリンバ</p>	<p>I. 安倍圭子: わらべ歌による譚章                  II. 任意の曲</p> <p>注) 1. 伴奏者は各自で用意すること。                  2. I の課題は暗譜演奏のこと。                  3. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。</p>

## 演奏芸術領域

<p style="text-align: center;">箏</p>	<p>《生田流》            箏「春の曲」(吉沢検校 作曲)            三弦「松の寿」(在原勾当 作曲)            《山田流》            箏「江の島曲」(山田検校 作曲)            三弦「近江八景」(山登万和 作曲)</p> <p>注) 1. 暗譜演奏            2. 時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。            3. 箏は本学で用意するが、各自持参の楽器を使用してもよい。            三弦は原則として各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した楽器使用も可能。</p>
<p style="text-align: center;">声 楽</p>	<p>I. 18世紀以前に作曲されたオペラのアリア1曲            例：W. A. Mozart, F. J. Haydn, G. F. Händel, A. Vivaldi など            II. オペラまたはオラトリオのアリアを2曲、ただし異なる作曲家の作品            III. 異なる作曲家の歌曲3曲</p> <p>注) 1. II、IIIから当日各1曲を指定する。            Iと合わせて計3曲を、アリアは原語かつ原調で、歌曲は原語で演奏すること。            2. 出版されている作品に限る。            3. 伴奏者は各自で用意すること。            4. 暗譜演奏</p>
<p style="text-align: center;">作 曲</p>	<p>I. 作品提出 2曲            室内楽作品(声楽作品を含む)または管弦楽作品            II. 口頭試問 提出された作品について</p> <p>注) 1. 1曲は無伴奏作品も可とする。            2. 提出された作品は返却しない。            3. 作品は出願時に提出すること。</p>
<p style="text-align: center;">指 揮</p>	<p>I. 指揮実技 J. Brahms: Symphony No. 2 D-dur Op. 73            全楽章より部分を指定して演奏させる。            II. 新曲初見指揮            III. Score Reading (総譜視奏法)            IV. 聴音            V. 音楽一般に関する口述諮問            VI. ピアノ実技(自由曲, ソナタ程度)            VII. ピアノ以外の器楽実技(弦楽器, 管楽器)または、声楽実技(自由曲, 伴奏なし)</p>

## 音楽文化領域

<p style="text-align: center;">全細専攻区分</p>	<p>I. 作文 音楽文化が社会で果たすべき役割について、800字以内で私見を述べなさい。(60分)            II. 実技試験 任意の楽器による任意の1曲または、作品提出(10分以内)</p>
---	---

## Ⅹ 試験会場

### くらしき作陽大学

住所：〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

TEL：086-523-0808

## Ⅹ 入学手続

合格者は所定の期日までに、入学手続きをすませること。手続きの詳細については、合格発表後に郵送する関係書類に明示する。

### ① 納入期限

	入学金納入期限	学費等納入期限（前期分）
大学院Ⅰ期入試合格者	2025年1月10日（金）	2025年1月24日（金）
大学院Ⅱ期入試合格者	2025年2月21日（金）	2025年2月28日（金）
大学院Ⅲ期入試合格者	2025年3月26日（水）	2025年3月26日（水）

※入学金、授業料（前期分）、教育運営費（前期分）を納入すること。

### ② 入学金・学費等

費 目	初 年 度 納 入 金			
	入学手続時	前 期	後 期	合 計
入 学 金	350,000円	—	—	350,000円
授 業 料	—	440,000円	440,000円	880,000円
教 育 運 営 費	—	215,000円	215,000円	430,000円
合 計	350,000円	655,000円	655,000円	1,660,000円

※ただし、くらしき作陽大学出身者の入学金は175,000円とする。

上記以外に後援会費18,000円、学生災害保険（2年間分）2,080円が必要。

また、くらしき作陽大学以外からの入学生の方は、同窓会費15,000円が必要。これらの費用についてののみ若干改定する場合あり。

なお、後援会費は、卒業まで前期・後期毎に必要。

### (注意)

1. 期日内に手続きをしない場合は棄権したものとみなし、入学を許可しない。
2. 一旦受理した入学手続き書類および入学金、学費等は返還しない。

ただし2025年3月28日（金）17時（必着）までに本学所定の「入学辞退届および学費等返還願書」を提出した者に限り、入学金を除く授業料、教育運営費（各前期分）、その他徴収金を返還する。

なお、返還は2025年4月以降になる場合がある。

本学所定の「入学辞退届および学費等返還願書」の用紙は、申し出により送付する。

## Ⅷ 長期履修制度 .....

次の資格を有する者については、長期履修制度を利用することができます。

合格者のうち、次のいずれかに該当する者

- (1) 職業を有し、就業しており、標準修業年限内の卒業・修了が困難である者
- (2) その他やむを得ない事情を有し、標準修業年限内の卒業・修了が困難である者
- (3) 自身の履修計画により、長期にわたり計画的に履修することを希望する者

修業年限は、

1. 長期履修を認める期間  
大学院音楽研究科・・・2年間で3年とする。  
※長期履修を認める期間の単位は1年とする。  
定員、人数制限は設けない。

この制度の内容は、入試広報室までお問い合わせください。

## Ⅸ 受験上の注意 .....

受験にあたっては、以下のことに十分注意してください。

- (1) 試験会場には、特別な指示がない限り、試験の始まる10分前に入室を完了してください。
- (2) 机には受験票・筆記用具・時計だけを置き、その他の持ち物は机の下に置いてください。
- (3) 計算・翻訳機能付の時計の使用は認めません。
- (4) 携帯電話等の電源はあらかじめ切り、かばんの中にしまってください。
- (5) 受験票は試験当日必ず持参し、机の上に貼ってある受験番号票のそばに置いてください。万一受験票を持参しなかった場合や紛失した場合は、受付まで申し出てください。
- (6) 試験中はすべて監督者の指示に従ってください。試験中に用件があるときは、挙手して監督者の指示を待ってください。
- (7) 試験開始後20分までの遅刻者は入室を許可します。ただし、試験時間の延長は認めません。
- (8) 試験開始後21分以上遅刻した者は受験できません。事故等により遅刻するときは、入試広報室（0120-911-394）まで連絡し、指示を受けてください。
- (9) 試験開始後は試験終了まで退出することはできません。
- (10) 配布された問題用紙もすべて回収しますので持ち出さないでください。
- (11) 一科目でも受験しなかった場合や、試験中不正行為があった場合は、受験資格を失います。
- (12) 上履きは不要です。

〈入学試験期間中の練習〉

入学試験期間中は、本学練習棟（4号館）が下記のとおり利用できますので、試験当日に練習棟受付にて直接申し込んでください。なお、電話での申込みはできません。（使用料無料）

	受付時間	利用時間
試験期間中	9:30～16:00 ※	9:30～17:00 ※

※試験日程により変更する場合があります。

〈入学試験期間中の昼食〉

入学試験期間中は学生食堂（7号館）を利用できます。



**くらしき作陽大学 大学院**  
**音楽研究科 音楽専攻**

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾 3515  
TEL.(086)523-0808 FAX.(086)523-0811  
<https://www.ksu.ac.jp>